

この安全データシートは以下の要件に従って作成された：
規則(EC) No. 1907/2006及び規則(EC) No. 1272/2008

発行日 26-12-2017

改訂日 19-5-2020

改定番号 3

セクション1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品コード E27231 - PBV000435

製品名 Tea Cleaner

1.2. 化学物質または混合物に関連する推奨用途および使用上の制限

Recommended Use 茶染み抜き剤

推奨されない用途 情報なし

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者名 Cafetto

供給者の住所 Parkstraat 83 2514JG Den Haag, The Netherlands;
9 Raffles Place, #27-00 Republic Plaza, Singapore 048619
12 Coglein Street, Brompton SA 5007 Australia

供給者電話番号 Australia: +61 8 8245 6901
New Zealand: 0800 772 227
EU: +44 20 7193 7370
USA: 206 462 5212
Singapore: 800 616 3122

供給者電子メール enquiry@cafetto.com

詳細はお問い合わせください。

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 情報なし

緊急連絡電話番号 § 45 - (EC)1272/2008	
欧州	112
オーストラリア	000
米国	119
英国	999

セクション2： 危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の分類

規則(EC)No. 1272/2008

皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分 2 - (H319)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2 - (H319)

2.2. ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H319 - 強い眼刺激

H315 - 皮膚刺激

注意書き - EU(S 28, 1272/2008)

P101 - 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと

P102 - 子供の手の届かないところに置くこと

P264 - 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと

P280 - 保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること

P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること

P302 + P352 - 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること

2.3. その他の危険性有害性

情報なし

3： 組成及び成分情報

3.1 化学物質

該当しない。

3.2 混合物

化学物質名	EC番号	CAS-No	Weight-%	規則(EC)No. 1272/2008[CLP]による分類	REACH登録番号
Potassium carbonate	209-529-3	584-08-7	30-60%	Eye Irrit. 2 (H319) Skin Irrit. 2 (H315)	01-2119532646-36
Sodium percarbonate	239-707-6	15630-89-4	10-30%	Ox. Sol. 2 (H272) Acute Tox. 4 (H302) Eye Dam. 1 (H318)	01-2119457268-30-0009
Sodium carbonate	207-838-8	497-19-8	10-30%	Eye Irrit. 2 (H319)	01-2119485498-19

HフレーズおよびEUHフレーズの全文：項目16を参照のこと

この製品は、高懸念物質の候補物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、第59条)を0.1%以上の濃度で含んでいない

4：応急措置**4.1. 応急措置の記載**

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
眼接触	直ちに少なくとも15分間まぶた(眼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

4.3. 取るべき応急措置及び必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

セクション5：火災時の措置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
大規模火災	警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。

5.2. 化学物質又は混合物から生じる特有の危険有害性

特有の危険有害性
熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。

危険有害性燃焼生成物
二酸化炭素。

5.3. 消火を行う者への助言

消火を行う者のための特別な保護具
消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人保護具を使用すること。十分換気されているか確認すること。粉じんの発生を避けること。粉じんを吸入しないこと。

その他の情報 7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

緊急対応を行う者のための保護具 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

6.2. 環境に対する予防措置

環境に対する予防措置 環境中に放出してはならない。環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び器材

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に収容すること。

6.4. 他の項目を参照

参照すべき項 詳細は8項を参考する。詳細は13項を参照する。

7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。粉じんの発生を避けること。十分換気されているか確認すること。

一般的な衛生注意事項 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

7.2. 混触危険物質を含む、安全な保管条件

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。

7.3. 特定最終用途

リスク管理方法(RMM) 該当しない。

8：ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

被ばく限度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない

導出無毒性量(DNEL) 情報なし

予測無影響濃度(PNEC) 情報なし

8.2. 暴露防止

個人用保護具

眼／顔の保護具	接触のリスクがある場合：. サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること.
手の保護具	適切な手袋を着用する.
皮膚及び身体の保護具	長袖の衣類. 適切な保護衣を着用する.
呼吸器の保護	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる.

環境ばく露防止 情報なし.

一般的な衛生注意事項 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること.

9 : 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

Physical state	粉体
Appearance	白色
臭い	特異臭
色	白色
Odor Threshold	情報なし

特性	値	備考 方法
pH	10.9 (at 1%w/v)	知見なし
融点 / 凝固点	データなし	知見なし
沸点 / 沸点範囲	No data available	知見なし
引火点	No data available	知見なし
蒸発速度	データなし	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データなし	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
可燃性上限	データなし	
可燃性下限	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
蒸気濃度	データなし	知見なし
相対密度	データなし	知見なし
Water Solubility	水に可溶	
溶解度	データなし	知見なし
n-オクタノール/水分配係数	Not applicable	
自然発火温度	データなし	知見なし
分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
動的粘度	No data available	知見なし
爆発特性	データなし	
酸化特性	データなし	

9.2. その他の情報

軟化点	情報なし
分子量	情報なし
VOC含有率 (%)	情報なし
蒸気濃度	情報なし
かさ密度	情報なし
Particle Size	情報なし

Particle Size Distribution 情報なし

10：安定性及び反応性

10.1. 反応性

備考 データなし.

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定.

10.3. 危険有害反応可能性

危険有害性反応危険性 通常のプロセスではない.

危険有害性な重合 危険有害性の重合は発生しない.

10.4. 避けるべき条件

過剰な熱.

爆発データ
 機械的衝撃に対する感度
 静電放電に対する感度

なし.
 なし.

10.5. 混触危険物質

情報なし.

10.6. 危険有害な分解生成物

二酸化炭素.

11：有害性情報

11.1. 有害影響に関する情報

可能性のある暴露経路に関する情報

製品情報

吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ.
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく).
皮膚に付着した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。皮膚刺激。(成分に基づく).
飲み込んだ場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

物理的、化学的、及び毒性学的特性に関する症状

症状 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。咳および/または喘鳴.

毒性の数値尺度

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 2,009 mg/kg mg/l

未知の急性毒性

- 混合物の 98.49201 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている
- 混合物の 18.19185 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 98.49201 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 98.49201 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
- 混合物の 98.49201 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
- 混合物の 78.38036 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

成分情報

化学物質名	LD50 Oral	LD50 Dermal	吸入 LC50
Potassium carbonate	= 1870 mg/kg (Rat)		
Sodium percarbonate	= 1034 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	
Sodium carbonate	= 4090 mg/kg (Rat)		= 2300 mg/m ³ (Rat) 2 h

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性/皮膚刺激性 皮膚刺激のおそれ.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類. 眼を刺激する.

呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし.

生殖細胞変異原性 情報なし.

発がん性 情報なし.

生殖毒性 情報なし.

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報なし.

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報なし.

吸引性呼吸器有害性 情報なし.

12 : 環境影響情報

12.1. 生態毒性

生態毒性

化学物質名	Toxicity to Algae	Toxicity to Fish	微生物に対する毒性	Daphnia magna(オオミジンコ)
Potassium carbonate			-	48h LC50: = 630 mg/L
Sodium percarbonate	240h EC50: = 70 mg/L (Chlorella)	96h LC50: = 70.7 mg/L (Pimephales)	-	48h EC50: = 4.9 mg/L

	emersonii)	promelas)		
Sodium carbonate	120h EC50: = 242 mg/L (Nitzschia)	96h LC50: = 300 mg/L (Lepomis macrochirus) 96h LC50: 310 - 1220 mg/L (Pimephales promelas)	-	48h EC50: = 265 mg/L

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 情報なし.

12.3. 生態蓄積性

生体蓄積性 情報なし.

12.4. 土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし.

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

PBT及びvPvB評価 情報なし.

化学物質名	PBT及びvPvB評価
Potassium carbonate	本物質はPBT/vPvBでない
Sodium percarbonate	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない
Sodium carbonate	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない

12.6. 他の有害影響

その他の有害影響 情報なし.

13 : 廃棄上の注意13.1. 廃棄物処理方法

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 情報なし.

14 : 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
14.1 UN番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制されていない
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 特例規定	なし
14.7 MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送	情報なし

RID	規制されていない
14.1 国連番号	規制されていない

14.2	正式輸送品目名	規制されていない
14.3	危険有害性クラス	規制されていない
14.4	容器等級	規制されていない
14.5	環境危険有害性	該当しない
14.6	特例規定	なし

<u>ADR</u>		
14.1	国連番号	規制されていない
14.2	正式輸送品目名	規制されていない
14.3	危険有害性クラス	規制されていない
14.4	容器等級	規制されていない
14.5	環境危険有害性	該当しない
14.6	特例規定	なし

<u>IATA</u>		
14.1	UN番号	規制対象外
14.2	正式輸送品目名	規制対象外
14.3	危険有害性クラス	NON REGULATED
14.4	容器等級	規制対象外
14.5	環境危険有害性	該当しない
14.6	特例規定	なし

セクション15：適用法令

15.1. 化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規規則/法令

国際規則

フランス
職業病 (R-463-3、フランス)

化学物質名	フランスRG番号	職名
Potassium carbonate 584-08-7	RG 58, RG 67	-

欧州連合

作業場での化学物質に関するリスクからの労働者の保護に関する指令98/24/ECに留意すること。

使用上の許認可又は制限：

この製品は、許認可の対象となる物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、附属書XIV)を含んでいない。この製品は、制限(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、附属書XVII)の対象となる物質を含んでいない。

残留性有機汚染物質

該当しない。

オゾン破壊物質(OD)規則(EC)1005/2009

該当しない。

15.2. 化学物質安全性評価

情報なし。

Additional Regulatory Information:

This SDS complies with legislative requirements in Australia, including Safe Work Australia guidelines, Australian Dangerous Goods Code and the criteria for the Globally Harmonised System (GHS) of Classification and Labelling of Chemicals

16：その他の情報

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

項目3で参照されているHステートメントの全文

H272 - 火災助長のおそれ：酸化性物質
 H302 - 飲み込むと有害
 H318 - 重篤な眼の損傷
 H319 - 強い眼刺激
 H315 - 皮膚刺激

凡例

SVHC：許認可の対象となる高懸念物質：

8：ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	STEL	STEL (短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
 米国環境保護庁ChemViewデータベース
 欧州食品安全機関 (EFSA)
 EPA (環境保護庁)
 急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
 危険有害性物質データベース
 国際統一化学情報データベース (IUCLID)
 日本GHS分類
 国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
 NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
 米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
 National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)
 米国国家毒性プログラム (NTP)
 ニュージーランド化学物質分類 情報データベース (CCID)
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
 米国環境保護庁高生産量化学物質
 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
 RTECS (化学物質毒性データ総覧)
 世界保健機構

発行日 26-12-2017

改訂日 19-5-2020

この安全データシートは以下の要件に準拠している： 規則(EC) No. 1907/2006.

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり